

顔の見える木材での快適空間づくり事業

事業実施主体

合同会社松下生活研究所

実施体制・連携グループ

▼木組みの家づくりの会/検討委員会

- ・企画運営・進行管理、経理、事務、仕組づくり、人材育成、事業報告/合同会社松下生活研究所
- ・五木村山村活性化協議会/企画運営・進行管理の協力、木材供給
- ・仕様、プラン/トーン建築設計、谷良二建築設計他～指導:安藤邦廣氏
- ・動画、HP、パンフレット等/(株)DESSIN
- ・イベント等協力/五木村農林課、再生住宅(株)、フジサンプラン、有)進星東部センター、田口技研、藤本和想建築

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①五木源住宅の板倉・定額制の仕組み化 検討委員会
月1～2回で5回程度。コンセプト、仕様・プラン、デザイン、流通、コスト等の検討確認。オンライン社会に向けたわかりやすくシステム化された板倉・定額制の自然素材型住宅。広報、集客、営業の仕組とツール開発。
- ②五木源住宅の板倉・定額制の仕組み化と手引書の作成。
「顔の見える木材での家づくり」の特徴である林家、木材製材加工、建築、施主の相互関係のある取組と施主がどうしたら木の家を手に入れやすいか、を見える化する。
- ③販売技術はリーディング法(顧客が自ら答えを見出すサポート技術)を取入れた人材育成をする。営業設計担当者にコミュニケーションスキル、リーディング法を学ぶ。3回開催。
- ④2分程度の五木源定額制住宅の動画とHPの作成、資料集、組み立てキットの作成。
- ⑤広報～zoomによるオンライン講座(五木源定額制住宅の説明会)募集とZoomによる顧客面談、五木村産地案内開催。計3回開催。
- ⑥報告書作成

【テーマ】五木源住宅の板倉・定額制の仕組み化

背景と目的

【背景】木の家を望む需要は大きいにも関わらず、一般住宅の1棟当り凡そ坪0.4m³、30坪住宅で12m³程度。A材の活用は極めて少ない。

【目的】五木村で展開する板倉構法(柱の側面に溝を掘り、横板を差込む)の五木源住宅(五木村を源とする木材生産履歴の住宅)を定額制としてブランド化し、A材認知を広げ需要の喚起と価値を広げたい。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- 現し型・板倉構法で一般住宅の約2.5～3倍のA材利用の住宅
- 本体価格+付帯工事(電気・水道・ガス工事)の完成引渡し価格。例えば本体価格+付帯工事=坪60万円/30坪1800万円の仕様設定、含まれないもの...消費税・地盤補強工事・照明、カーテン工事・家具工事・外構工事・造成工事・浄化槽工事・防火、準防火工事等。
- 表し型・板倉住宅は安心して安全だが高価格で手に届かないというイメージを払拭し、家づくり予算が明確で、尚かつ産直である利点を顧客へ提供する付加価値の高い顔の見える木材での快適空間の提供

写真・図等



スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

①検討委員会

②板倉・定額制の仕組化

③リーディング法取得、④動画作成

⑤広報

⑥報告書作成